

市民のくらし第一の市政へ

日本共産党市議団5人が一般質問



佐藤洋子市議は、小山田桜台住民のみなさんから強い要望が出されている「日大三高まで延伸し



佐藤洋子

25日
4番目

小山田桜台から多摩センター行きのバス実現を

たバスを多摩センターまで延伸してほしい」と質問をおこないました。この間、地域のみなさんから、たくさんのお名前も寄せられています。町田市は、南北の交通機関がありません。実現を求めましたが、都市づくり部長からは「引き続きバス会社に要望していく」という回答でした。

相原地域から八王子医療センター行きのバスについて求めた質問に対しては、まちっこのルート見直しも含めて「検討する」との回答でした。

平和行政拡充、核兵器も基地もない平和な日本を求めましたが、市長は、自らの平和への思いも決意も語りませんでした。



池川友一

26日
2番目

鶴川地域から市民病院への直行バス実現を

池川友一市議は、「鶴川地域から、市民病院への直行バスの実現は、緊急」がある。ぜひ実現を」と求めました。これに対し、市民病院の事業管理者から「緊急のテーマである。シャトルバスがほしいと考えている。2010年度の私の仕事目標として積極的にとりこんでいきたい」と、直行バス実現に道をひらく前向きな回答がありました。また、町田バスセンターから市民病院に行くバスがわかりやすくなるように看板の設置、バス

停を降りてから危険な道を通らなければならない状況の改善を求めたところ、「改善する」と回答がありました。

中学校3年生までの医療費完全無料化を求めた質問には、「200円の窓口負担をなくすには3850万円」ということが明らかになりました。

が、子ども生活部長からは「考えておりません」という回答でした。

国民健康保険証の資格証明書の発行中止を求めた質問には、「法改正されれば、7月から高校生までは短期証に切り替える」と18歳までの子どもたちには資格証を発行しないということが明らかになりました。

3月9日から30日、第一回定例会がひらかれました。「新庁舎建設・大型開発やめ、市民のくらし第一の市政」という市議選の公約実現へ、日本共産党は予算修正案の提案を積極的におこないました。一般質問では、「4つのゼロ」(保育所の待機児ゼロ、特養ホームの入所待ちゼロ、75歳以上の医療費ゼロ、中学校3年生までの医療費ゼロ)や切実な願いをとりあげ、質問をおこないました。市議団5人の質問をダイジェストで紹介いたします。(質問の映像は、町田市議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます)

無料法律相談 のご案内

- 4月14日(水) 午後2時～
 - 4月28日(水) 午前10時～
- 場所は市役所5階の日本共産党控室

事前に、予約を入れてください。042(723)6312
もしくは、各市議会議員までご連絡ください。